

全体構想（案）の修正内容について

第2回見直し検討委員会から修正したもの

資料1-1

No.	内容	修正対応	全体構想のページ
1	p.5について、重点的に取り組むこと、目玉を強調するとよい。ウォーカブル、防災は特に重要であると思う。	基本目標にイラストを追加し、重要な項目についてデザインを追加した。	42、43、44
2	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、交通にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。	都市施設の整備方針：公共サインにおける多言語化の推進（第2次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.39より引用）	59
3	戸田駅～戸田公園駅の埼京線沿いは、現在緑地、人通りが少ない。環境空間はJRの土地であるため、市とJRが連携して、人が歩きたくなるウォーカブルなまちを進めていってほしい。 埼京線沿いで朝市をやるなど、空き地がもったいないので活用してほしい。	事業者と連携を取り、環境空間の利活用を推進していくことを記載した。	63
4	見直しの主なポイント「スポーツレクリエーション拠点」に関して、分野別方針の「2都市施設の整備方針」の「（2）公園・緑地の整備方針」にも関連事項を記載してほしい。	スポーツレクリエーション拠点が、「③公園の適切な配置と整備」の項目に、健康増進や余暇活動の中心となることを明記した。	63
5	公共交通において、①環境負荷の下げること、②ウォーカブルとの連携を盛り込んで良いのではないかな。	②ウォーカブル計画の方針①として「安全で快適な交通結節点と移動・滞在空間の形成」が掲げられているため、「（2）徒歩・自転車で行動したくなる快適な移動空間の整備」に修正した。	73、74
6	交通にも環境負荷の観点を含めてほしい。	公共交通の方針にて、モビリティマネジメントのコラムを挿入し、環境負荷の観点を追加した。	74
7	見直しの主なポイント「スポーツレクリエーション拠点」に関して、分野別方針の「5防災都市づくりの方針」にも関連事項を記載してほしい。	スポーツレクリエーション拠点に位置付けられている、戸田市スポーツセンターについては、洪水・内水氾濫発生時、地震発生時の指定緊急避難場所兼避難所に指定されており、避難場所としても活用されていることを記載した。	75
8	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、防災にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。	防災の方針：パンフレットの多言語化、避難所における多言語化対応の推進（第2次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.48より引用）	76
9	内水氾濫に記載が偏っているのではないかな。荒川の外水氾濫については、含めなくていいのかな。ソフト面がほとんど書かれていないのは追加しなくてよいのかな。ハザードマップの周知をしているか。	外水対策の方針及び、避難環境の整備（ハード）や避難訓練、ハザードブックの周知などの情報提供（ソフト）も含めて追記した。	77
10	ユニバーサルデザインに外国人の観点にはあるが、防犯にも外国人の関わり方を盛り込んでいただきたい。地域コミュニティの強化には、外国人も含めて入っていただくのか。	防犯の方針：外国人市民の地域社会（町会・自治会、ボランティア団体など）への参画を促進することによる地域コミュニティの強化（第2次戸田市多文化共生推進計画（R5.3）p.36より引用）	79
11	笹目・美女木地域に、地域資源を活用した住環境や産業の活性化施策を盛り込んでほしい。	地域別構想において、取組方針に盛り込む。	地域別構想 4-55、4-69

全体構想（案）の修正内容について

第2回見直し検討委員会から修正したもの

資料1-1

No.	内容	修正対応	全体構想のページ
12	美女木地区については、道満グリーンパークの活用、スポーツ、スローライフが楽しめるまちにしてほしい。	彩湖・道満グリーンパークはスポーツ・レクリエーション拠点として位置付け、健康づくりやスポーツ振興の視点を目標に含めるものとする。（地域別構想に反映する。）	地域別構想 4-69
13	美女木地域の交通について、バス利用者が少ないため、バス路線がなくなるのではないかと住民からの不安の声はある。地域別構想でもよいが、西部地域については、交通を確保することを強調してほしい。	美女木地域について、公共交通の課題、取組方針を設定した。	地域別構想 4-70
14	アンケートについて、「重要度が低い」といえるのか。表現を考えてほしい。	「重要度が低い」→「重要度が平均値より低い」など、表現を変更する。	資料編